

HUD custom tools 仕様書

2021.10.27

著作権・使用許諾について

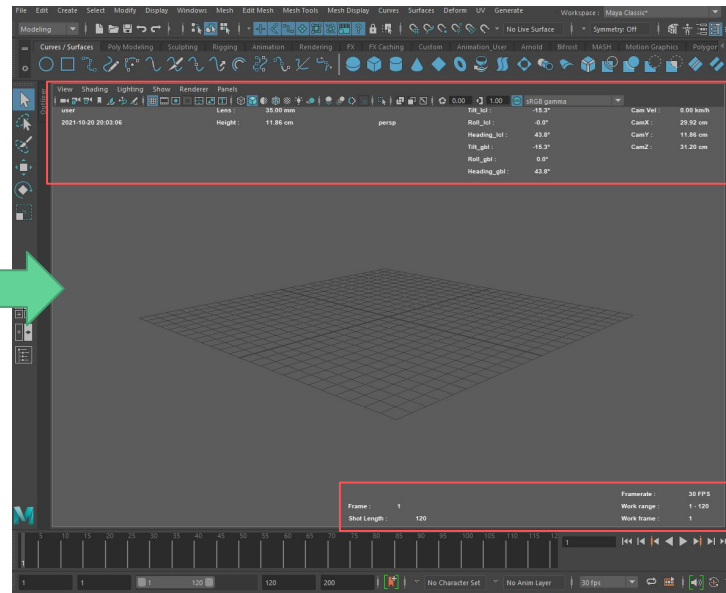
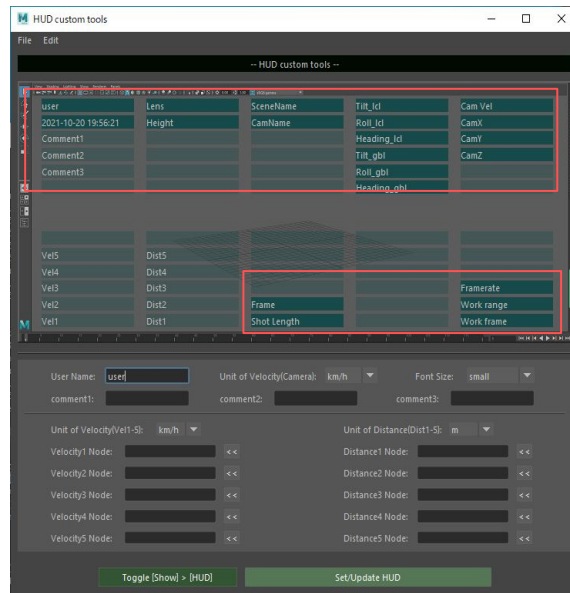
HUD custom tools は Apache License Version 2.0 に基づいてライセンスされます。

リブレント・イノベーションズ株式会社 BACKBONE事業部 監修/株式会社BIGFOOT

ツール概要

本ツールは、以下の情報をHUD(Heads Up Display)として任意の位置に表示するツールです。

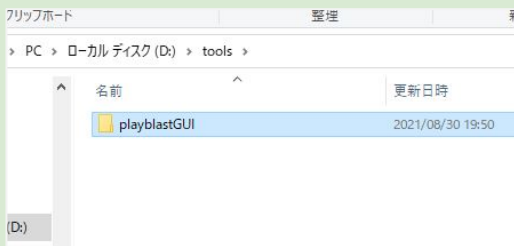
- ・ユーザー名
- ・現在の日時
- ・Comment : 任意のコメント
- ・Lens : カメラのfocal length
- ・Height : カメラのY座標
- ・Scene Name : シーン名
- ・Cam Name : カメラ名
- ・Tilt_lcl : カメラのローカルX回転
- ・Tilt_glb : カメラのローカルY回転
- ・Heading_lcl : カメラのローカルZ回転
- ・Heading_glb : カメラのグローバルX回転
- ・Roll_lcl : カメラのグローバルY回転
- ・Roll_glb : カメラのグローバルZ回転
- ・Cam Vel : カメラの速さ
- ・Cam X,Y,Z : カメラの座標
- ・Distance : 任意ノードとカメラの距離
- ・Velocity : 任意ノードと速さ
- ・Shot Length : playback rangeの長さ
- ・Frame : 現在のフレーム
- ・Framerate : フレームレート
- ・Work frame : 現在のフレーム
- ・Work range : playback range



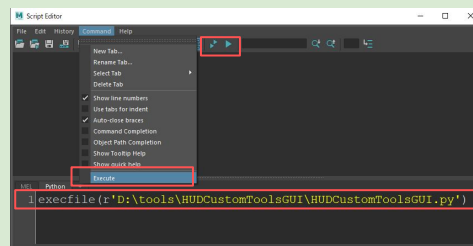
■ 起動方法

“HUDCustomToolsGUI”ディレクトリを任意の場所に格納し、
“HUDCustomToolsGUI”ディレクトリ直下の“HUDCustomToolsGUI.py”を、Pythonコマンドexecfile()で実行します。

具体例



- ① HUDCustomToolsGUIを任意のディレクトリに格納
例: `D:\tools` に格納した場合



- ② Script EditorのPythonタブに次の一行を入力
`execfile(r'D:\tools\HUDCustomToolsGUI\HUDCustomToolsGUI.py')`
- ③ [Command] > Execute
または 

動作確認環境

- Python 2.7
- Maya 2017, 2018, 2019, 2020

本ツールは、Maya 2017以降のバージョンに対応したshiboken2とPySide2をインポートしています。

本ツールをMaya 2017以降のバージョンで実行するにあたりインポートエラーが発生した場合は、モジュールのインストールをお願いします。

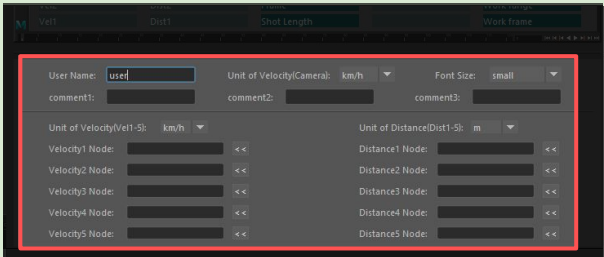
■ 設定手順



・ドラッグ&ドロップ :各HUDの表示位置を移動します。



・クリック :各HUDの表示/非表示を切り替えます。



・User Name :ユーザー名を変更します。(デフォルトはOSのログイン名)

・Unit of Velocity :カメラ速さ、任意ノード速さの単位を選択します。

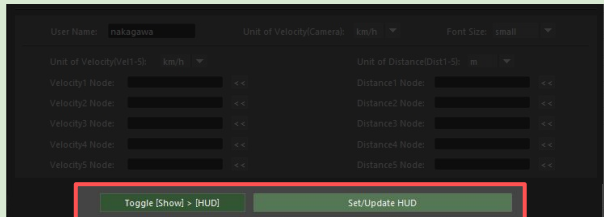
・Unit of Distance :任意のノードとカメラの距離の単位を選択します。

・Comment :任意のコメントを入力します。

・Font Size :文字サイズをsmall/largeから選択します。

・Velocity Node :速さを表示するノードを選択後、[<<] ボタンで設定します。

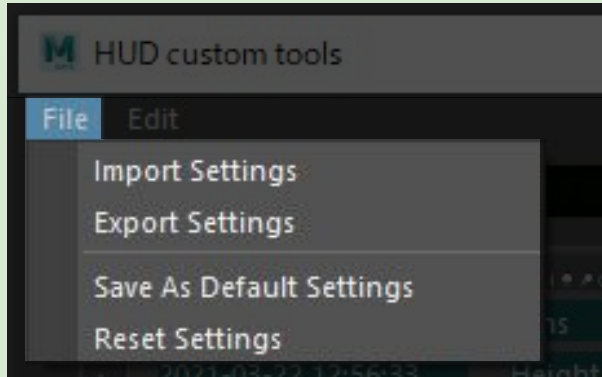
・Distance Node :カメラとの距離を表示するノードを選択後、[<<] ボタンで設定します。



・Toggle [Show] > [HUD] :すべてのHUDの表示/非表示を切り替えます。
同梱の `toggleHUDVis.py` を実行すると、
本ツールを起動せずに同じ操作を行います。

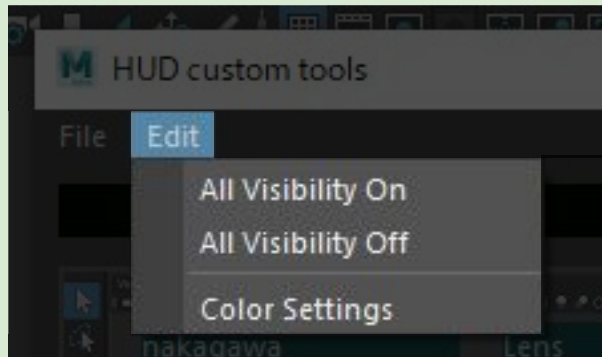
・Set/Update HUD :すべてのHUDを表示または更新します。
同梱の `setUpdateHUD.py` 実行すると、
本ツールを起動せずに同じ操作を行います。

■ 設定手順(メニュー)



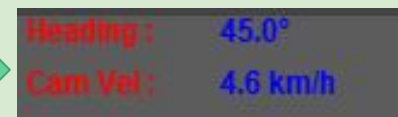
- **Import Settings** : 設定値をJSONファイル形式で入力します。
- **Export Settings** : 現在の設定値をJSONファイル形式で出力します。

- **Save As Default Settings** : 現在の設定値をデフォルト設定として出力します。次回以降、この設定の状態ですべてのHUDを表示します。他の環境にデフォルト設定を共有したい場合、本ツールと同じディレクトリに保存される”defaultSetting.json”を共有してください。
- **Reset Settings** : デフォルト設定を初期化します。



- **All Visibility On** : すべてのHUDを表示します。
- **All Visibility Off** : すべてのHUDを非表示にします。

- **Color Settings** : HUDの色を変更するスライダーを表示します。



以上